

# 啓蒙活動

7/16

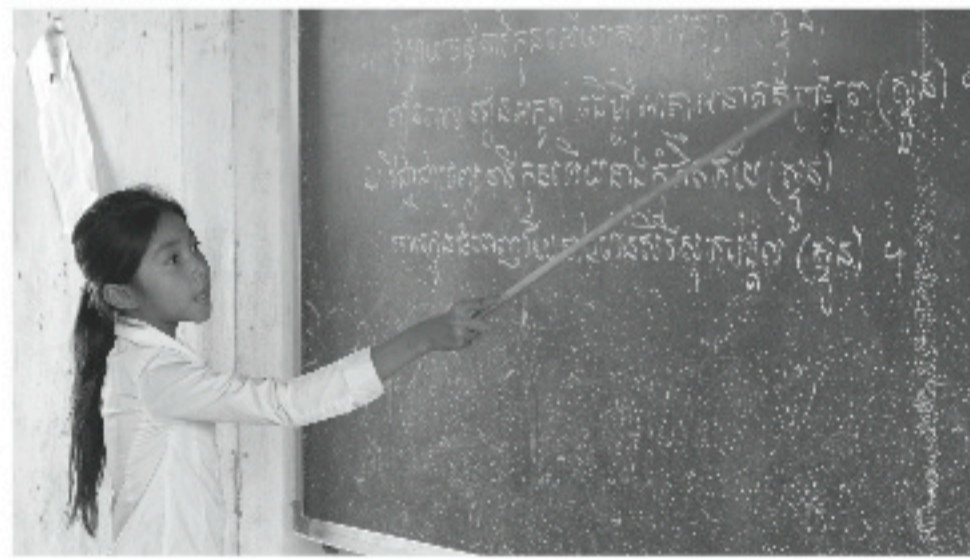
## 天満敦子チャリティーコンサート VOL.12

第一生命ホール(晴海トリトンスクエア)

本年のプログラムは、バッハなどのヨーロッパの古典曲や定番である「望郷のパラード」に加え、「夏の思い出」「からたちの花」など日本の懐かしい曲も数多く、いつもながらの熱のこもった演奏に、会場の多くを占める中高年の方々の大きな共感を呼びました。



今年は国立宇都宮大学に留学していた、デイ・チャリア(当会が支援するCCH養護施設の出身であり、プノンペン王立大学在籍中)もスタッフの一人として小山内代表と並んでステージに上がり、長年のJHPをはじめとする日本の支援に対する感謝の言葉を日本語で述べるという、とてもほのぼのとした一幕もありました。



なお、当日の来場者数は488名、入場料をはじめとする収入は228万円、支出は103万円で、差引125万円がチャリティー額としてカンボジアの音楽教育に活用されることとなりました。

2017  
7/29

次回は浜離宮朝日ホールにて開催予定

I2/2

## チャリティーオークションパーティー

アグネスホテルアンドアパートメント東京

今年で12年、6回目の集いとなりました。神楽坂のアグネスホテルを会場に77人のお客様がご参加いただきました。

TBSプロデューサー石井ふく子氏にお力添えをいただきミニコンサートでは海援隊の千葉和臣氏、司会は岡本信人氏、ゲストには長山藍子氏のご出演をいただきました。



チャリティーではJHP・学校をつくる会の活動にご賛同いただきました各界著名人、文化人、企業様よりご寄贈品(43件)をいただきました。

お品々はチャリティーとしてお求めいただき収益はカンボジア・ネパールの子ども達の教育支援に役立たせていただきます。

# イベント出展



年間10回を超える外部イベントに出展参加し、JHPの諸活動の紹介と各種資料の配布を行い、認知度を高め、協力者を募ることに努めました。また、これらイベントの多くで、カンボジア・ネパールの教育支援の資金、熊本地震復興支援の資金として、募金箱の設置やグッズ販売を行ってきました。



各イベント時には、JHP会員の皆様をはじめ、応募のあった大学生やお仕事体験ボランティアに申し込まれた小学生にもご協力いただくなど、盛大に、そして楽しみながら実施することができました。

## 国際協力の裾野を広げる諸活動

活動名	主な内容・実績
JHPニュース発行	年2回発行。部数3,500部。 カラー印刷、透明封筒の活用を継続
ホームページ運営	イベント等お知らせ情報や活動内容に変更が生じる都度更新作業を実施。 国際協力に関するQ&Aのページを新設。 サイト訪問件数24,225件/年
メールマガジン	年26回発行。閲覧者1,202人('17/3上現在)
SNSの活用	メールマガジン未登録の方への情報提供や、会の日常的話題の紹介、イベント当日の話題提供としてFacebookとTwitterを活用。 Facebookフォロワー: 782人('17/3下現在) Twitterフォロワー: 395人('17/3下現在)
报告会・説明会	2016年6月25日、「国際ボランティア・カレッジ第10期」「アフリカへ毛布をおくる運動」それぞれの活動報告会を実施
講演・講義等	役職員が年10回以上を実施
各種コーディネート	ブノンペン事務所が22組250名を対応した。
カレンダー販売	約700部を販売した

## オリエンテーション

JHPの活動、カンボジアやネパールの様子などについて紹介し、国際協力や国際支援をともに考える機会としてオリエンテーションを実施しました。月2回(事前予約制)を基本に、その他、学校や団体などの訪問希望を受け、合計15回の開催で過去最高となる55人の参加がありました。

2016年度の特徴として、中学校・高等学校の社会科学見学や修学旅行の訪問が多かったことが挙げられます(中学生:4校35人、高校生:3校9人)。

これは、学習要綱の改訂により、社会科学の授業で国際協力・人道支援の学習が加わったことによるものと思われます。なお、これら中高校生のオリエンテーションでは、滞在時間や要望内容に応じ楽器清掃の実体験を組み込むなどの対応も行ってきました。



## ボランティアセミナー

2015年度までの第10期に亘り実施してきた「国際ボランティア・カレッジ」に代わり、年数回の「ボランティア・セミナー(仮称)」を計画していましたが、テーマの選定や受講生募集方法など決定に至らず、2017年度以降の取り組みとすることと致しました。